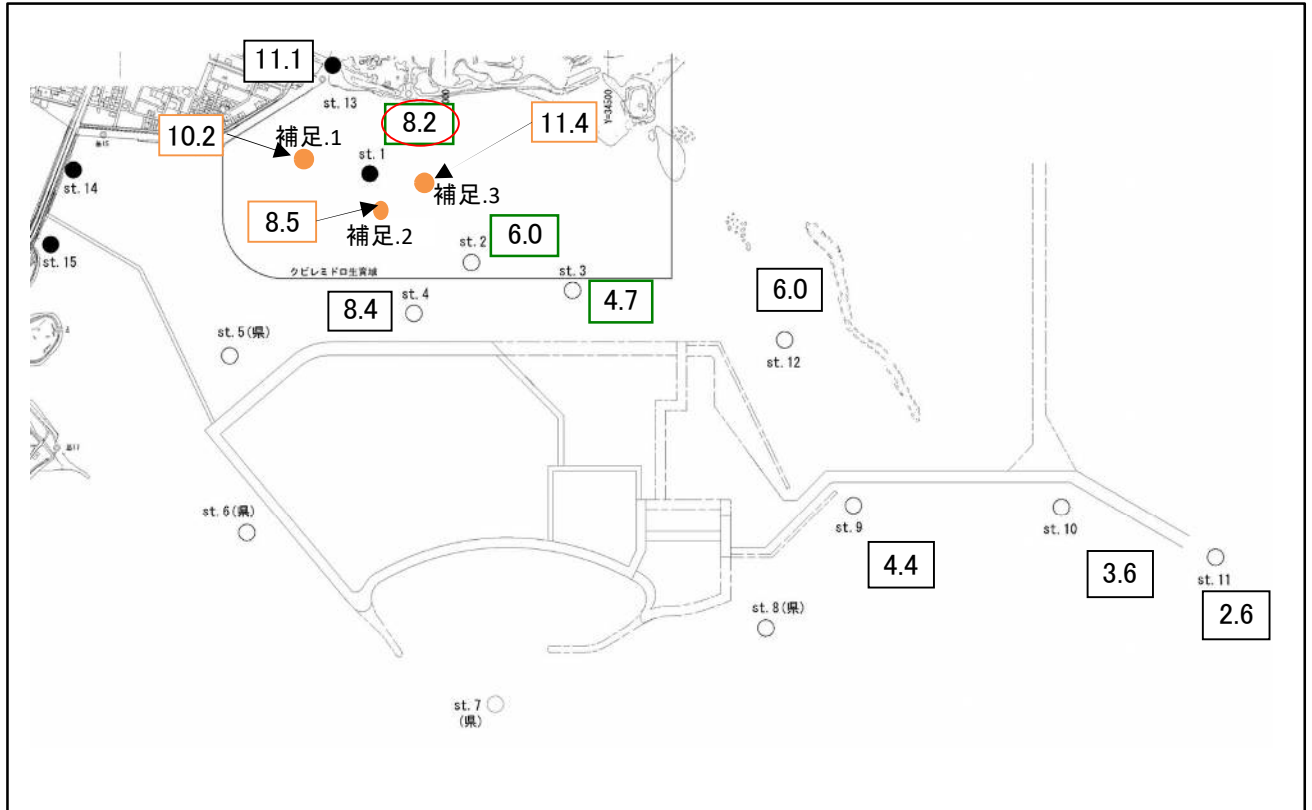


数値基準超過時における濁り(SS)の分布状況

令和6年10月24日 (木) 【潮時】干潮05:38 18:08、満潮 13:12 23:24

気象状況	天気	風向	風力	潮汐	備考
pm	雨	北東	2	下げ潮	小潮

【調査位置図】



濁り(SS)監視基準

- 基本監視地点 st.1~3 :7mg/L
 - 補助監視地点 st.4~12 :11mg/L
 - 補足調査地点 補足.1~3
 - 数値基準を超過した濁り(SS)が確認された地点
 - 濁り(SS)が11mg/Lを超えた地点
- (st.13は流入部なので、基準値は設定されていない。)

工事の状況	(国)泊地浚渫工事	汚濁防止膜管理
	(県)仮棧橋撤去工事	汚濁防止膜管理

数値基準を超過した調査区域の状況

10月24日は、風向は北東、風力は2、波高は0.1m程度であった。
 前日3日間の降水量は19.5mm、当日の降水量は144.5mmであった。
 全域において茶色の濁りが見られた。

評価

10月24日全域において水色が茶色の濁りを呈しており、st.1において工事監視基準値を超過した。
 海上工事は、早朝の一時だけ新港地区で浚渫作業が行われていたが、泡瀬地区での実施はなく、工事との関係性は無いと考えられる。
 補足調査を、基準超過したst.1の周辺で行った。補足.1の値が高いことから陸域からの濁水流入の影響が考えられる。
 全域において茶色の濁りが見られた。原因として、当日の9時頃までの大雨による濁水の流入による濁りと考えられる。